

顧客、サプライヤー、従業員、地域社会など、すべてのステークホルダーの皆様と良好な関係を維持できるよう、さまざまな活動に取り組んでいます。

顧客／サプライヤー

ISO9001 認証取得により、製品の品質保証に努めるとともに、自社のガイドラインに基づくグリーン調達を推進しています。また、すべての取引に関する情報のセキュリティ確保に取り組んでいます。

品質保証への取り組み

当社では、世界トップ水準の品質保持と、お客様満足度向上のための「品質方針」を定め、さまざまな品質保証の取り組みを行っています。

全事業所・工場においては、国際規格ISO9000シリーズを取得し、これに則った品質マネジメントシステムを運用しています。

品質方針

- 品質方針**：世界トップ水準のニッパツグローバルTQMの実践によるお客様満足度の向上
- スローガン**：世界トップの品質・ダントツ工程のグローバル展開とQCD同時改善
- 重点方策**：1. グローバルな人材育成によるニッパツグローバルTQM活動の実践
2. 攻めの品質改善による納入クレーム、工程内不良の目標挑戦
3. 品質改善効果算出法の実用化による品質改善投資の促進とQCD同時改善

ニッパツのISO9001 認証取得状況

本部・事業部	対象事業所	認証種類	取得年月	対象製品名
ばね生産本部	本部、横浜工場、滋賀工場	QS9000	1998年 8月 7日	懸架ばね全般
シート生産本部	本部、群馬工場、横浜工場、豊田工場	ISO/TS16949:2002	2000年11月21日	自動車用シートおよび内装品全般
精密ばね生産本部	本部、厚木工場、伊那工場	ISO9001:2000	1998年 6月19日	精密ばね全般
DDS事業本部	本部、駒ヶ根工場	ISO9001:2000	1997年 4月25日	HDD用サスペンション
産機事業本部	伊勢原工場	ISO9001:2000	2000年 5月26日	半導体製造検査装置部品
	駒ヶ根工場	ISO9001:2000	1997年 8月12日	発泡ポリウレタン製品および金属ベースプリント配線板
	野洲工場	ISO9001:2000	1999年 6月18日	機械式立体駐車装置
研究開発本部	光通信部品事業室	ISO9001:2000	2003年 2月28日	光通信部品
情報セキュリティ事業部	情報セキュリティ事業部	ISO9001:2000	2003年 3月25日	セキュリティ機器全般

情報のセキュリティ確保

当社およびグループ各社は、顧客やサプライヤーとの取引における情報の流出防止について、2003年12月にその基本となるべき「セキュリティマネジメントポリシー」を制定しました。この対策基準、実施手順の運用により情報の保護に努めています。

ポリシーの適用者は、当社および関連会社の役員と

従業員、外部委託業者の従業員（派遣社員、アルバイトを含む）としています。保有する情報資産は、機密度や内容に応じて、重要度を評価、分類し、適切な管理を行い、機密漏えい、破壊、改ざん、不正利用などを予防しています。

部品調達

当社は部品調達にあたって、「相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築」「公正・公平かつオープンな調達」「法規遵守と機密保持」という3つの基本方針を制定しています。

●グリーン調達

当社では、調達の基本方針に基づき「グリーン調達ガイドライン」を制定し、環境に配慮した企業から環境負荷

の少ない製品の調達に努めています。サプライヤーの皆様との連携によって、製品の設計・生産・廃棄にいたるすべての段階を通して環境保全活動を強化するとともに、環境負荷の削減と環境リスクの回避を図っています。

「グリーン調達ガイドライン」



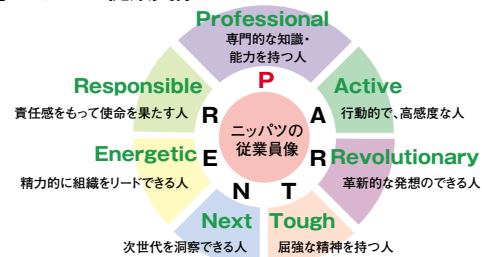
従業員

当社は、有能な人材を「パートナー」として広く求めるとともに、労働安全衛生の確保に取り組んでいます。また、差別のない職場環境をめざし、障害者雇用も積極的に進めています。

人事と人材育成

有能な人材は、自ら成長しようとする「個人」と、それを育てようとする「職場」から育成されます。当社は、従業員一人ひとりが「プロフェッショナル」としての能力を発揮できるよう、これらをサポートする「人事制度」の運用に取り組んでいます。また採用にあたっては、キーワードの頭文字から「PARTNER」を期待する従業員像として、当社の「パートナー」となる人材を広く求めています。

■求められる従業員像



障害者雇用

当社は、差別のない職場環境をめざしています。障害者雇用を積極的に進めるため、2002年4月、障害者雇用の子会社「ニッパツ・ハーモニー」を横浜事業所内に設立しました。同社は2004年4月に厚木、2005年4月に駒ヶ根に営業所を開所しました。2005年6月現在、28人の従業員を雇用しています。

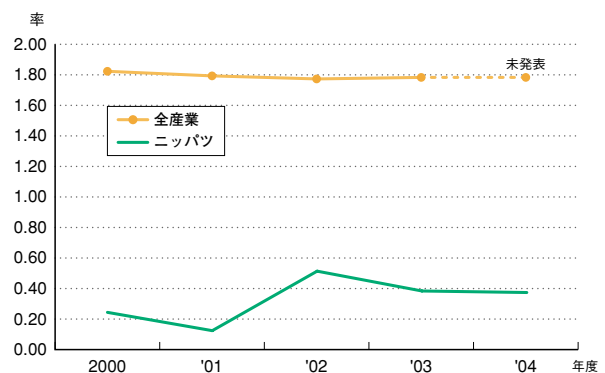


西厚生労働副大臣がハーモニーを視察。当社の障害者雇用の取り組みに理解をいただいた

労働安全衛生

当社は、2000年度から労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、2003年度から、これを全社展開しています。また、安全基本動作を習得する「安全道場」の取り組み、安全の基本ともいえる5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）への取り組み、危険有害要因を特定し、設備本質安全化につなげるリスクアセスメントへの取り組みなど、「危険ゼロ」を目標に労働災害の撲滅を推進しています。労働安全衛生の指標となる休業度数率は、全産業平均と比較し、大幅に下まわっています。今後は、労働安全衛生マネジメントシステムのPDCAサイクルを適切にまわし、スパイラルアップによる安全衛生管理レベルのさらなる向上を図っていきます。

■労働災害による休業度数率推移



$$\text{休業度数率} = \frac{\text{休業災害発生件数}}{\text{述べ労働時間}} \times 100\text{万}$$

VOICE ●●● 担当者の声 ●●● ものづくりを通じて社会に貢献できる人材を育てます



当社は人事部が中心に行う従業員教育だけでなく、現場でものづくりの基本である品質・安全・環境・標準作業などの教育を行っています。基本行動を体で覚える「道場」を工場内に設けたり、仕事の幅を広げるため従業員の資格取得を推進しています。教育にあたっては、基本行動の真の理解のため、一人ひとりの技量や性格に合わせた教育を心がけています。ものづくりを通じて社会に貢献できる人材を育てよう努めています。

シート横浜工場製造課 改善主担当(前工長)加藤 長寿さん(左) 工長水口 弘記さん(右)

地域社会

地域社会から世界へと共生の輪が広がるよう、当社は従業員全員による社会貢献活動を積極的に推進しています。事業所や工場では、周辺の清掃活動や地域行事への参加など、地域の方々に愛される企業となるよう努めています。

インターンシップと工場見学

● 高校生らの就業体験に協力

当社では、先生、生徒などのインターンシップによる就業体験を、積極的に受け入れています。

先生のインターンシップは、横浜市教育委員会の依頼によるもので、2004年7月21日から27日まで、並木第二小学校と港南台ひの養護学校の2人の先生が、シート横浜工場で就業体験に汗を流しました。

高校生は、2004年7月26日から28日の3日間、県立磯子工業高校の2年生3名と県立商工高校の3年生1名が、ばね横浜工場で自動車用の懸架ばねなどの製造を体験しました。また2004年10月4日から8日の5日間、横須賀工業高校の3年生3名を受け入れました。

このほか、伊勢原工場などでもインターンシップを受け入れています。



インターンシップで、熱心に仕事に打ち込む高校生



高校生にばね製造工程を指導

● 国内外からの工場見学受け入れ

当社の国内11工場は、当社所属団体や業界関係者、小・中学生から高校生、大学生など、連日多くの工場見学を受け入れています。また、技術習得のために海外から訪れる政府関係者や企業担当者の視察もあり、見学のテーマも、環境、品質管理、安全、生産性、障害者雇用など多岐にわたっています。



世界を舞台に活躍する企業に感動した様子の小学生(駒ヶ根工場)



お母さんたちに連れられてお父さんの職場見学に訪れた子どもたち(横浜事業所)



横浜事業所を訪れたポーランドの学生たち



東南アジアからは技術の習得のために来日する政府関係者や企業担当者が数多く見学に訪れる

大学との産学連携

2004年11月12日、当社は横浜国立大学ならびに横浜国立大学との、産学連携包括協定にそれぞれ調印しました。内容は、研究開発、技術交流、教育訓練、社会貢献など、幅広く多岐にわたっています。

当社は、従来から両大学と共同研究や社会人ドクター制度による人材育成などで協力関係があり、当社に在籍する両大学の卒業生が出身大学と交流するなど、個々にもつながりを持っていました。

今回の協定は、相互の連携がさらに深まることにより、ニッパツは研究開発機能のいっそうの強化を、両大学はそれぞれ民間企業のニーズ把握や研究成果の社会還元の拡大推進を目的としています。



調印後、固い握手。左から、横浜国立大学・飯田学長、当社・佐々木社長、横浜国立大学・小川学長



横浜国立大学で行われた産学交流会にパネルと開発品を出展

清掃活動と地域交流

当社では、国内の事業所・工場ごとに、行政との連携を図りながら、周辺地域や河川などの清掃活動を実施しています。また、各地域行事への積極的な参加や、近隣の方々を招いた夏祭り開催など、すべての事業所が「地域に根ざしたニッパツ」をめざした活動を行っています。

●「ごみ拾いウォーク」参加

2005年3月19日、横浜事業所の従業員と家族約40人が「ごみ拾いウォーク」に参加し、約5キロメートルを歩きました。ごみは思いのほか多くあり、参加者は予定を1時間以上もオーバーして目的地に到着しました。



「ごみ拾いウォーク」大人も子どもも一懸命にごみ拾い(横浜事業所)

●群馬県「尾島ねぶた祭り」参加

2004年8月14・15日、群馬県太田市(旧新田郡尾島町)で行われた「第26回尾島ねぶた祭り」には、群馬工場と北関東支店の若手従業員15名が参加しました。夜遅くまで山車を引き、祭りを盛り上げました。



「尾島ねぶた祭り」群馬工場と北関東支店の若手が参加。翌日早朝からの清掃活動にも汗を流した

●各地域に根ざした夏祭り

当社各工場は、近隣の方々を招いた夏祭りを開催し、従業員が出店する模擬店や、子ども向けのアトラクションなどで盛り上がります。「ニッパツの夏祭りに来ないと夏になった気がしない」という声も聞かれるほど、地域に根ざしたイベントとなっています。また、夏祭りを利用したチャリティバザーなどの実施も増えています。



子どもたちも楽しみながら当社の夏祭り(豊田工場)



チャリティバザーとオークションを開催。収益金は近くの社会福祉法人日本聴導犬協会に寄贈(伊那・駒ヶ根工場)

関連会社によるイベント活動

●中学生向け体験ゴルフ教室【ジー・エル・ジー】

ジー・エル・ジーは、2004年2月23・24日、同社経営のゴルフ練習場「リンクス新川崎」に、隣接する日吉中学校の3年生約100名を招き、所属プロが講師となって体験ゴルフ教室を開催しました。



1993年から始まり、同校の卒業記念行事としてすっかり定着している「体験ゴルフ教室」

●スプリングカップサッカー大会【スミハツ】

スミハツは、2004年3月12・13日、茨城県協和町サッカー場を中心に、小学生のサッカー大会「第11回スミハツスプリングカップ」を開催しました。県内を中心にした参加24チームが熱戦を繰り広げました。



スミハツサッカー部と近隣の下館KFCのエキシビジョンマッチなどが大会を盛り上げた「スミハツスプリングカップ」

VOICE ●●●担当者の声●●●

従業員個人のボランティア活動へ理解と支援が得られます



厚生労働大臣表彰を受ける宮沢さん(左)

ニッパツは、各事業所ごとに地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいますが、ボランティア活動などを行う従業員個人に対しても、積極的な支援を行っています。私は「平成16年度勤労青少年福祉功労者」として、厚生労働大臣からの表彰状をいただきました。これも、会社の理解と支援があったからこそと感じています。

伊那工場 総務課主任 宮沢 伸一さん

ニッパツを囲む皆様の声

当社の事業活動は、多くのステークホルダーとの関わりから成り立っています。顧客、サプライヤー、公共団体、地域社会、それぞれの立場の皆様に、当社への率直なご意見や期待などを語っていただきました。

グローバルでの良きパートナーとして



トヨタ自動車株式会社
第1調達室シャシーグループ
グループ長
吉田 浩二さん

ニッパツは、トヨタの開発・生産におけるパートナーとして、懸架ばね、シートなどの部品を供給していただいています。

トヨタも2003年から「環境社会報告書」を発行しています。2005年度版では、環境側面への開発・設計での2004年度取り組み結果として、「2010年燃費基準（ガソリン乗用車）」達成車の生産台数比率87%との報告を行いました。この実現には軽量化への取り組みが必須でした。ニッパツはこれまで、高応力ばねや中空スタビライザなどを提案・供給し、車両の軽量化に協力していただきました。

私たちトヨタは、各国・各地域で、事業に根ざした活動から、芸術・文化・科学技術の発展、地球環境保全など、広く社会に貢献することが大切だと考えています。地域の人々と一体になって事業を展開し「愛される企業市民」となるよう努力していきます。ニッパツとは、引き続きグローバルでの良きパートナーとして、「地道に、愚直に、徹底的に」様々な問題に取り組み、ともに全てのステークホルダーから誇りに思っただけの会社でありたいと思います。ともに頑張りましょう！

これからもWIN-WINの関係を



株式会社神戸製鋼所
鉄鋼部門線材条鋼営業部
線材・銑鉄室室長
西村 悟さん

ニッパツは、神戸製鋼所の鉄鋼製品を素材として、さまざまな自動車用部品を加工している最重要パートナーです。ばね、シートをはじめ、数多くの製品に当社の材料を使っただけでなく、その

使用量は単独の部品メーカーとしてはケタ外れの、ひと月1万トン以上にもなります。さらに、共同で新素材の開発なども進めているほか、いくつかの関連会社にも材料を供給させていただくなど、グループ全体と深い関係にあります。

ニッパツは、ばねの分野で世界一の企業であり、その技術のコアに現在ではさまざまな分野へ事業を展開しています。一方、神戸製鋼所は文字通りの鉄鋼メーカーであり、阪神大震災など幾多の苦難を乗り越えた現在、得意とする特殊鋼線材やハイテン材に特化していきようとしています。これらの材料ではトップメーカーであると自負しており、今後もニッパツのグローバル展開に対応できるよう、供給体制を確立していく所存です。お互いにナンバーワンの部品メーカー、材料メーカーとして、これからもWIN-WINの関係が継続していくことを願っています。

温かい企業風土を継続してほしい



社会福祉法人電機神奈川福祉センター
専務理事・センター長
土師 修司さん

ニッパツは障害者雇用を積極的に推進し、2002年に障害者雇用の特例子会社「ニッパツ・ハーモニー」を横浜に設立し、さらに厚木と駒ヶ根の両工場内に相次いで営業所を設け、多くの障害者を雇用してきました。

電機神奈川福祉センターは、「ニッパツ・ハーモニー」の設立にあたり、設立時の支援のほか、雇用された障害者の就労・生活支援をしてきました。またニッパツの新入社員研修の一環として、福祉や障害者に対する理解を深めてもらうための体験学習などを受け入れてきました。

これまで日本の企業は人を育て活かしながら発展してきました。しかし最近は割り切った人事管理になりつつある企業が多くなっています。その中でニッパツは障害者雇用、新入社員教育、従業員の福利厚生など、就業環境を見ても温かみのある企業だと肌で感じています。ニッパツは「ばね」というコア技術からさまざまな分野に業容を拡大しています。これからますますの発展を期待するとともに、温かみのある企業風土をぜひ持ち続けてほしいと願っています。

地域を足場に世界への事業展開を期待



横浜市金沢区地域振興課
課長
飯島 良次さん

ニッパツは、1991年に横浜事業所が金沢区に移転した当初から区政を深く理解し、地域を重視したさまざまな活動を展開し、区が推進する「地域住民の連帯高揚」「住みやすいまちづくり」に協力していただきました。特に花火大会やロードレース&小学生駅伝大会には毎年協賛いただいています。これらの事業は現在、横浜市を代表する一大イベントになっています。花火大会には区外、市外からも多くの人たちが訪れており、金沢区の魅力をアピールし、横浜の名を上げるのに貢献しています。

グローバルな優良企業は、地域に認められ、愛され、支えられて、初めて資格を有するものと考えています。ニッパツは横浜から世界へと躍進を続けており、横浜市民が誇る地域に根づいたグローバル企業といえましょう。金沢区では「住んでいて良かった。ずっと永く住み続けたい」と誰もが思える地域づくりを進めています。今後も引き続きご協力をお願いするとともに、ニッパツが金沢区を足場に、ますます世界に広がる事業展開をしていくことを期待しています。